

各位

上場会社名 株式会社 テイン
 代表者 代表取締役社長 市野 諒
 (コード番号 7217)
 問合せ先責任者 取締役 那須 賢司
 (TEL 045-810-5511)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,753	72	69	53	9.91
今回発表予想(B)	1,564	48	34	32	6.01
増減額(B-A)	△189	△23	△35	△21	
増減率(%)	△10.8	△32.7	△50.4	△39.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	1,625	43	34	△100	△18.31

平成23年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,569	1	△6	△7	△1.36
今回発表予想(B)	1,458	57	54	56	10.43
増減額(B-A)	△110	55	60	63	
増減率(%)	△7.1	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	1,344	△42	△41	△142	△26.03

修正の理由

<連結>

当第2四半期連結累計期間における連結売上高につきましては、欧米地域における金融不安に伴う景気減速、急激な円高の進行、また各国での景気刺激策の息切れ観測など、世界経済の混乱による景気の低迷が内外のカーアフターマーケットにおける消費マインドに引き続き大きな影響を及ぼす結果となりました。

特に全体の約60%を占める国内の売上高においては、個人所得の減少、依然として高い水準で推移する失業率などを背景として需要の回復に遅れが見られ、さらにはデフレ傾向による価格競争の激化などが当社製品に与える影響も大きく、第2四半期累計期間は計画比△8%近い乖離となりました。合わせて、海外の各地域においても計画を割り込む結果となったことから期初の計画に対して下回る見通しとなりました。また、前述の売上高の減少に伴う売上総利益の減少が損益全体に影響し、さらには想定を上回る円高傾向で推移したことから、利益面においても期初の計画を下回る見込みとなったため、連結業績予想の修正をおこなうものであります。

<個別>

個別の業績予想につきましては、売上高は前述の状況と同様になりますが、損益面では固定費や変動費の削減努力が奏功したことにより、上表のとおり修正いたします。

○通期の業績予想について

前述の状況を鑑み現在慎重に検討をおこなっておりますので、開示が可能となり次第速やかに公表いたします。

以上